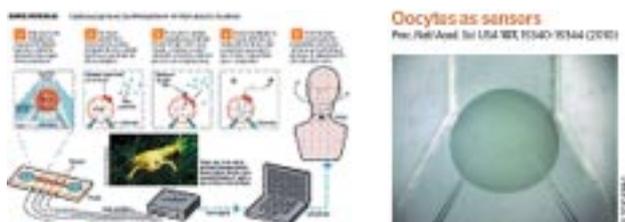


「BEANSプロジェクト」最近のメディア報道から

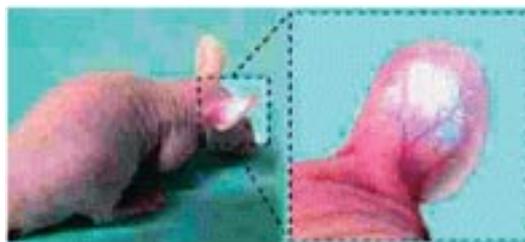
夏以来、新聞や雑誌などのメディア等で取り上げられたことを中心に紹介します。国内でも海外でも主としてバイオテクノロジーがらみの成果が注目されています。特にLife BEANSセンター長の竹内昌治准教授らの「匂いかぎ分けロボット」と「体内埋め込み型血糖値センサー」の話題がさまざまなメディアを駆け巡った秋でした。これまで本部で把握できたものを以下に紹介します。

【研究成果関係】

細胞による匂いかぎ分けセンサー、ロボットへの応用に成功：東京大学 竹内昌治准教授（Life BEANSセンター長） 三澤宣雄研究員らのグループの成果です。権威ある米国PNAS（Proceedings of National Academy of Science of the United States）に掲載され、国内でも大々的にとりあげられました。



- 1) YouTube動画ニュースDigInfo 2010/7/29、2) 日本経済新聞2010/10/5朝刊、3) 日経産業新聞2010/10/5、4) 海外専門誌：Royal Society of Chemistry 2010 NEWS2010/October、5) 海外メディア：米国ABCニュース「血糖値ビーズ」2010/October、6) ネット記事：医療設計&製造技術Canon Communications



© Proc. Natl. Acad. Sci. USA

Life BEANSセンターの研究成果：「胆管作製技術を開発」として東大と三菱化学メディエンスが発表しました。日経産業新聞2010/12/6、11面

熱電変換材料、わずかな温度差で発電。九工大など衣服家電に応用へ。九州工業大学 宮崎康次准教授（Life BEANS九州）日経産業新聞2010/8/27

【知財活動】

日刊工業新聞（2010/9/17）に「異分野連携の知財支援」として知財に於いて先進的な取り組みをしているBEANSプロジェクトが紹介されました。

【研究員】活躍中の二人の女性外国人研究員がメディアでも紹介されました。

Macro BEANSセンターのクンプアン・ソマワン研究員の人物像が10/15付の日刊工業新聞・人物欄（今創人）に「国境を越えて新技術研究」と題して紹介されました。ソマワンさんはタイ・チェンマイ大学卒、ブリストル大学、立命館大学でそれぞれ修士、博士号を取得。独・フライブルグ大学勤務を経てBEANSプロジェクトに参加しています。

第27回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムにおいてLife BEANSセンターの許允禎（ホ・ユンジョン）研究員が若手研究者優秀発表賞を受賞しました。ユンジョンさんは韓国KAIST卒。東京大学にて博士号を取得しました。

- 1) TV NHK「おはよう日本」2010/9/24、2) TV NHK「18時NHKニュース」2010/9/24、3) TV東京ワールドビジネス・サテライト2010/9/10、4) 日本経済新聞2010/8/24朝刊、5) 日経産業新聞2010/8/24朝刊、6) 日刊工業新聞2010/8/24朝刊、7) 東京新聞2010/8/24朝刊、8) 読売新聞2010/8/24夕刊、9) 毎日新聞2010/8/24夕刊、10) 朝日新聞2010/9/3、11) 化学工業日報2010/8/24、12) ネット記事：医療設計&製造技術Canon Communications、13) 海外メディア：Tech News Daily、14) 海外メディア：Reuters、15) 海外メディア：New Scientist Tech.、16) 海外メディア：ブラジルFolha De S.Paulo 2010/8/24、17) 海外専門誌：Nature Materials 2010/8/23 Highlight、18) 海外専門誌：Nature Materials / Vol. 9 / October2010 p.78「Oocytes as Sensors」Proc.Natl.Acad.Sci.USA 107,15340-15344（2010）、19) 海外専門誌：Ordorant SensorがPopular Science Best of What's New 2010 Security部門に選ばれた2010/11/22、20) ラジオ出演：NHK国際放送局 2010/9/20 14:10-14:30、21) 一般雑誌：DIME No.21小学館2010/October

体内埋め込み型連続血糖値センサの開発：東京大学 竹内昌治准教授（Life BEANSセンター長）ほかの成果です。2010/1月に発表後、マイクロマシンMEMS展で海外メディアの目にとまり、米国PNASにも掲載されたことから、再度注目を集めました。



クンプアン ソマワンさん



ホ ユンジョンさん